

(お知らせ)

**新潟県中越沖地震の発生を踏まえた福島第一原子力発電所および
福島第二原子力発電所における地質・地盤調査の実施について（その２）**

平成 19 年 11 月 27 日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所
福島第二原子力発電所

当社は、平成 19 年 7 月 16 日の新潟県中越沖地震の発生を踏まえ、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所において、これまでの地質調査をさらに補完し知見を拡充するため、発電所周辺の海域および陸域における地質調査を実施することとし、11 月 5 日より、発電所の敷地内のボーリング調査や敷地周辺陸域での地表地質調査を実施しております。

([平成 19 年 8 月 17 日](#)、[11 月 5 日](#) お知らせ済み)

このたび、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の周辺海域での海上音波探査、周辺陸域での地下探査等についても、調査計画がまとまりましたのでお知らせいたします。

本調査では、発電所周辺の海域と陸域の地下構造を調べ、耐震安全性の評価に反映することを目的として、海上音波探査、および起震車による地下探査ならびに双葉断層の南側におけるボーリング調査を実施いたします。

現在の調査計画は以下の通りです。

- ・海上音波探査　：平成 19 年 12 月 3 日開始、平成 20 年 3 月終了予定
- ・地下探査　　：平成 20 年 1 月 7 日開始、3 月終了予定
- ・ボーリング調査：平成 20 年 1 月上旬開始、3 月終了予定

なお、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所における地質・地盤調査の計画については、本日開催された福島県原子力発電所安全確保技術連絡会に報告しております。

以　上

(別紙)

- 新潟県中越沖地震の発生を踏まえた福島第一、第二原子力発電所における地質・地盤調査の実施について（その２）

新潟県中越沖地震の発生を踏まえた福島第一、第二原子力発電所における地質・地盤調査の実施について（その2）

平成 19 年 7 月 16 日の新潟県中越沖地震の発生を踏まえ、これまでの地質調査をさらに補完し知見を拡充するため、現在、福島第一、第二原子力発電所敷地内においてボーリング調査等を、周辺陸域において地表地質調査を実施しています。このたび詳細調査計画が未定となっていました周辺海域の海上音波探査、周辺陸域の地下探査等の調査計画が以下のとおりまとまったことから、今後、計画的に実施してまいります。

1. 調査内容

(1) 周辺海域

- 発電所周辺海域において、海底下の地下構造を把握するため、海上音波探査を実施する。

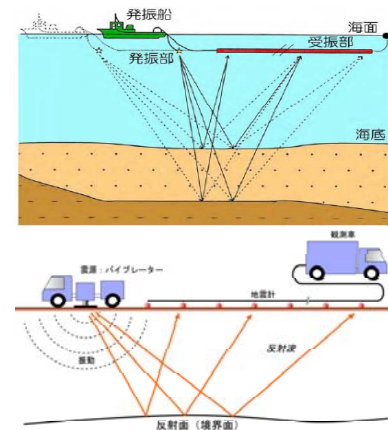
(2) 周辺陸域

- 双葉断層のうち当社が活動性を評価している区間およびその北方において、双葉断層の地下構造を把握するために、深部の地下探査を実施する。【測線 1～3】
- 発電所周辺における地層（約 300 万年前に堆積）がほぼ水平に連続して分布していることを確認するため、深部の地下探査を実施する。【測線 4、5】
- 双葉断層のうち当社が活動性を評価している区間の南方において、双葉断層を覆っている地層に断層による変位が及んでいないことを確認するため、浅部の地下探査およびボーリング調査を実施する。【馬場地点、上手岡地点】

2. 調査方法

(1) 海上音波探査

調査船から海中に音波を発振し、海底下の地層からの反射波をとらえ、解析を行うことで、海底下の地下構造を調査する。



(2) 地下探査

起震車を用いて地下に振動を与え、地層からの反射波をとらえ解析を行うことで、地下構造を調査する。なお、探査する深さおよび道路状況に応じて、起震車としてバイブレーター、インパクトター、板たたき装置を使い分ける。

主な使用機材（深部探査）

[道路の幅員が狭い場所で使用]

全幅：2.4m 全長：8.2m
全高：3.3m 重量：17.7t



起震車A（バイブレーター）
（探査深度 2 km程度）

全幅：1.9m 全長：4.8m
全高：2.8m 重量：6.5t



起震車B（インパクトター）
（探査深度 500m程度）

主な使用機材（浅部探査）

全幅：1.5m 全長：3.5m
全高：2.4m 重量：2.0t

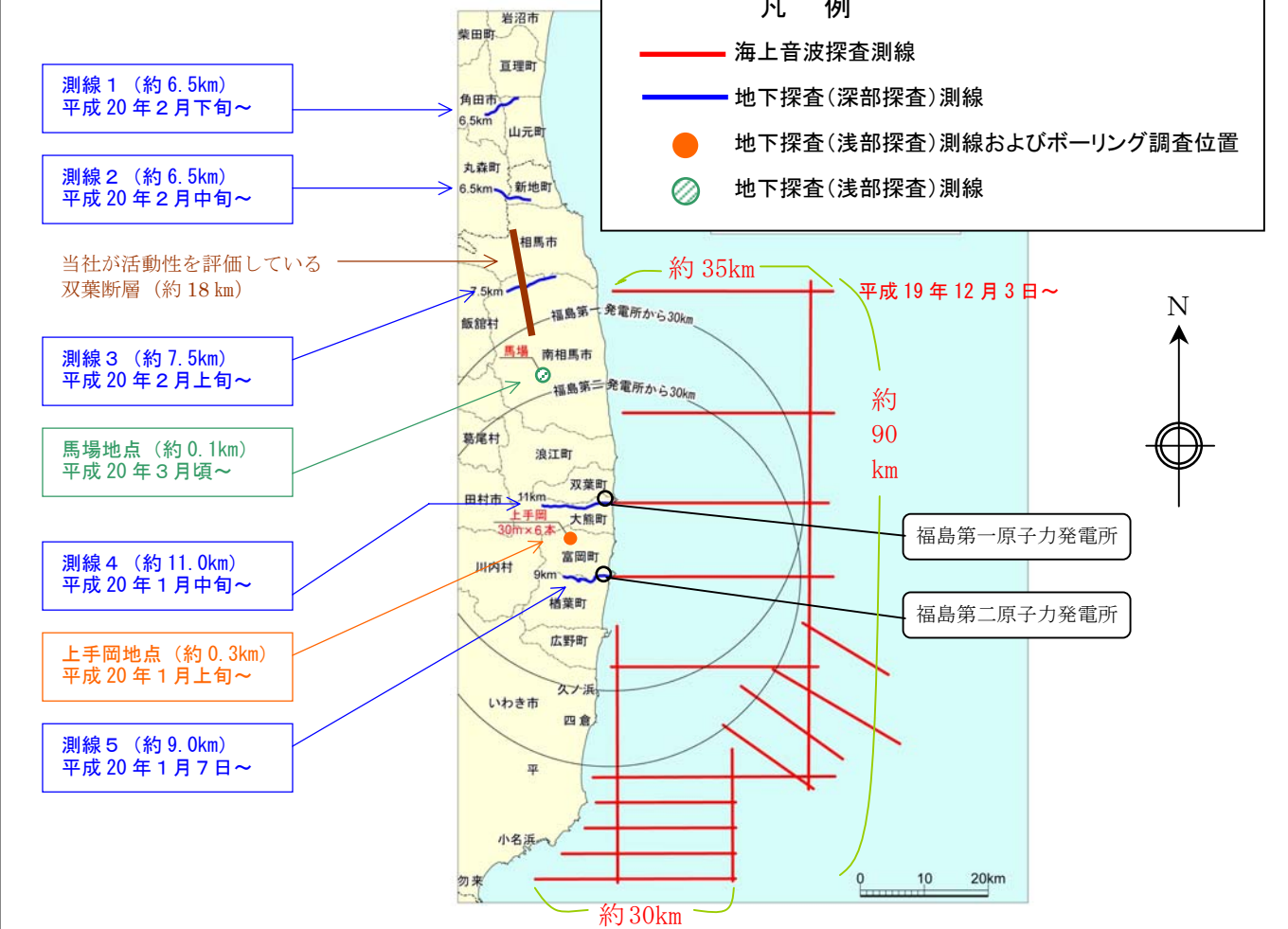


起震車C（板たたき装置）
（探査深度 30m程度）

(3) ボーリング調査

地盤を構成する土や岩石などを棒状のコアとして連続的に採取し、これを観察して地質の状況を調査する。これを複数箇所で行うことにより、地層の分布状況（連続分布など）を確認する。

3. 調査予定位置・予定時期



4. 調査期間および調査数量(予定)

実施項目	調査数量	平成 19 年			
		12 月	1 月	2 月	3 月
海上音波探査	測線 17 測線 延長 約 520 km	12/3～			
		約 4 ヶ月			
地下探査	(深部) 5 測線：延長約 41 km (浅部) 2 測線：延長約 0.4 km		1/7～		
		約 3 ヶ月			
ボーリング調査	6 本程度 深さ 約 30m/本		1/月上旬～		
		約 3 ヶ月			

※調査スケジュールについては、関係機関との協議の結果等により、変更となる可能性がある。